

令和7年度 歯科医療安全管理コース

開催報告

令和7年8月2日(土)～9月14日(日)

オンデマンド配信

令和7年9月6日(土)、7日(日)

ライブ配信

感染対策と安全管理、17講義で学ぶ確かな基礎

オンデマンド配信では、感染対策および医療安全管理に関するものに分かれており、感染対策に関する講義では、標準予防策の具体的方法や、器具の洗浄・消毒・滅菌の基本、院内感染対策において重要な微生物の知識など、計8つの講義が行われた。医療安全管理に関する講義では、医薬品・医療機器の安全管理方法、レジリエンス・エンジニアリングと医療安全、歯科衛生士のリスクマネジメントプロセスなど、多岐にわたる内容で9つの講義が実施された。

これらの講義を6週間の期間内にすべて修了した後、Zoomを用いたオンラインワークショップ（以下：WS）を受講する。

事例分析と「オーデット」作成のワークショップ

WS1では、アイスブレイクの後、各受講者が経験したヒヤリハット事例を共有し、その中から1つの事例を選択してディスカッションを行い、最後に全体発表を行った。

WS2では、グループごとにテーマが与えられ、オーデットを作成し、発表した（※オーデットとは、いわゆる自己点検で、項目は診療・記録方法や機器・環境・システムなど）。作成したオーデットは、自施設で活用できるものとなっている。

WS3では、2つのインシデント事例について分析を行い、対応策や改善案を各グループで検討し、全体で発表した。

各ワークショップ（WS）では、自身の経験やオンデマンド配信講義で得た知識を活かし、活発なディスカッションが展開された。

自施設ですぐに活かせる、確かな安心と安全の構築

受講者からは、「普段会うことのないさまざまな職場で働く歯科衛生士の医療安全対策について聞くことができた」「グループで取り組むことで、多くの知恵を学ぶことができて良かった」といったコメントが寄せられた。また、「多職種との連携や高齢化に伴う全身管理の重要性が増している中で、対策や薬剤管理に役立てたい」との意見もあった。

本セミナーを受講することで、感染対策および医療安全を実践できる歯科衛生士が増えていくことを期待したい。